

セックスワーク・スタディーズ

当事者視点で考える性と労働

SWASH 編



日本評論社より発売中!

セックスワーカーの経験にねざし、
スティグマ・差別・犯罪化による
人権侵害とこれらとの闘いを明るみに出し、
日本における当事者中心の
セックスワーク研究を切り開く待望の書

アムネスティ・インターナショナル
法律アドバイザー
ジェイミ・トッド＝ギア氏 推薦!


Jaime Todd-Gher
AMNESTY INTERNATIONAL

【目次】

- はじめに
- 第0章 セックスワークという言葉を獲得するまで
—1990年代当事者活動のスケッチ／ブブ・ド・ラ・マドレーヌ
- ▼第1部 社会の中のセックスワーク
 - 第1章 誰が問いを立てるのか
—セックスワーク問題のリテラシー／要友紀子
 - 第2章 セックスワーカーとは誰のことか
—社会の想定からこぼれるワーカーたち／宇佐美翔子
 - 第3章 なぜ「性」は語りにくいのか
—近代の成り立ちとセックスワーク／山田創平
 - 第4章 法規制は誰のためにあるのか
—セックスワークをめぐる法の歴史と現在／松沢呉一
 - コラム トランスジェンダーとセックスワーク／畑野とまと
- ▼第2部 セックスワーカーの権利を守るには
 - 第5章 性の健康と権利とは何か
—権利主体としてのセックスワーカー／東優子
- ▼第3部 セックスワーカーとの関わりかた
 - 第6章 セックスワーカーへの暴力をどう防ぐか
—各国の法体系と当事者中心のアプローチ／青山薫
 - 第7章 どうすれば安全に働けるか
—セックスワーカーの労働相談と犯罪被害／要友紀子
 - コラム ウリ専営者から見える業界の今とこれから／篠原久作
- ▼第3部 セックスワーカーとの関わりかた
 - 第8章 合意とは何か—性が暴力となるとき／岡田実穂
 - 第9章 当事者とどう向きあうか
—セックスワーカーと表現／げいまきまき
 - 第10章 セックスワーカーにどう伴走するか
—当事者による経験の意味づけ／宮田りりい
 - コラム 児童自立支援施設からの報告／あかたちかこ
- ▼付録
 - 用語集
 - 日本の性風俗年表
 - 日本の性風俗産業の構成
 - SWASH WEB資料案内・おわりに

✂ キトリ

※ご住所・お名前等をご記入のうえ、最寄りの書店にお持ち下さい。
郵送または FAX にて直接小社にお申し込みいただいても結構です。(その際は送料が 380 円かかります。)

注文書

セックスワーク・スタディーズ 当事者視点で考える性と労働

SWASH[編]

■本体1,900円+税/四六判 ISBN978-4-535-58724-3

冊

書店名 番線

ご住所

お名前

お電話 ()

申込先 **FAX ▶ 03-3987-8590** 日本評論社
〒170-8474 東京都豊島区南大塚3-12-4 <https://www.nippyo.co.jp/>